

ジョブサポーターからの一言

第14話

面接のちょっとしたコツ

「+1」で話そう！！



面接では、沢山話せたから印象がいいわけではありません。

例えば、二次面接で面接官から色々と質問され1時間ほど和やかに話せました…
という場合でも不採用はよくあることです。

一方、あまり質問されずに10分で終わっちゃいました…という方が受かる場合もよくあります。

面接官からすると、前者は「あなたのことがよくわからなかったので、色々と質問
しました。でも結局どういう人が良くわかりませんでした」。

後者は「一次面接担当者からの報告でこういう人が来るんだろうなと思って面接に
臨み、やっぱり思った通りの人だった」という場合等々。

いずれにしても面接の印象はいい方がいいですね。

では、どうするか。

「面接は、初めて会う知らないオヤジ（大概是オヤジです）とのコミュニケーション」
です。その人との会話（といっても一方的な質問にあなたが答える）を通じてあなた
を知ってもらう作業です。

どうせなら、話が弾むように進んだほうがいいですね。

続きは次のページへ

そこで「+1」です。

「YES」 or 「NO」で答えられる質問
(例えば「遅刻をしたことがありますか?」)

でも、ちょっと付け足すのです。

(「いいえ。いつも10分前行動をしています。」 or

「はい。2度ほどありましたが、電車遅延に因るものでした」等)

その方が、話が広がりませんか?

+αのPRができませんか?

実は皆さんも普段の友人との会話はそうしているはずです。

「昨日、どっか行った?」「いや、雨だったからどこも」「じゃあ、晴れてたらどっか言ったの?」という感じです。

面接官への答えも、ちょっとだけ広げやすくしてあげてください。

これも何気ない会話のコツです。